

分析力を向上し集客手法に革命を起こす

客数・客層調査システム『NAPPA(ナツパ)』

頭取りのデータ入力にiPhoneやiPad touchといった携帯端末を使用する客数・客層調査システム『NAPPA』。パソコンへのデータ転送は簡単で、遊技客数や稼働率などの帳票を自動作成。データの分析力を高め、営業戦略を策定するまでのスピードアップにも貢献する。

収入が伸び悩む中、娯楽の多様な影響もあり、パチンコ・パチスロのファン人口は減少し続けている。ホール業界を取り巻く環境は厳しさを増

しており、来店客の滞在時間やリピート率をいかにアップさせるかが重要になってきた。そのためにはまず、商圏の客層を分析し、客層に合った機種構成が求められる。その上で、自店と競



iPhoneやiPad touchによってデータ入力はスムーズ

合店の客層を分析し、競合店のウイークポイントを突き、自店のストロングポイントを抑え、重要なポイントに活躍するのが、南州ソフトウェアの営業支援ソフト『NAPPA(ナツパ)』だ。

毎日の業務のひとつ、頭取りの作業負担を軽減するため、『NAPPA』では、データ入力にiPhoneやiPad touchといった携帯端末を使用。客数や男女・年齢の客層のほか、遊技台の種類や貸し玉レート毎の箱数も入力できる。

調査員がデータを入力すれば、ネットワークで結ばれた本部やホールへ瞬時に頭取りデータを送れるので、本部にしながら自店と競合店の営業状況も確認できる。リアルタイムの情報を基に、的確で迅速な指示を出すことも可能だ。データはパソコンに自動入力されるので手間が省けて、手書きによるミスも防げる。調査データを保存するサーバーは大手クラウドサービスを使用している。高い安全性が確保されている。調査データはエクセル形式での出力も可能だ。

データを送信したパソコンでは、遊技客数や稼働率、シェア率などの帳票が自動で作成される。また、自店の新



パソコンへ自動入力されたデータを基に、すぐに分析を行える

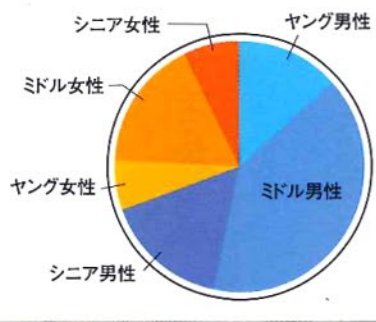
声が高まっている。また、別の導入ホールは、「調査のコストが下がっただけでなく、自店と競合店のデータを簡単に比較できる帳票によって、営業会議の時間短縮にもつながった」と業務効率が向上したことを

高く評価する。価格は保守料金やサーバメンテナンスなどを含めて1店舗当たり月額8000円と、ランニングコストも抑えられている。『NAPPA』は導入ホールからの要

望を反映し、常に進化し続けるシステム。現在搭載している機能の4割は、そうしたホールからの要望によって追加したものだ。利用するホールの集客方法に革命を起こすため、これからも利便性と分析力を向上していく。

ホールの皆様は、競合店の客数データを活かしきれいでいません。堂々と入店して一人ひとり遊技者のデータを収集できる状況は、他業界では考えられないことです。コンビニ、スーパー、飲食店など、ホールを除くサービス業では多額の予算を投じて覆面調査を行い、精度が70%にも満たないデータを基に、営業戦略を考えています。競合店の客数データがいかに重要なものなのかということを変更して理解して下さい。そして、お客様はエリア全体にいるということをご認識して下さい。

図表1 海シリーズの客層比率



データから次の一手が見えてくる

日野藤一郎 課長

図表2 海シリーズのシニア層客数比率

	自店舗	エリア全体
シニア男性	8.7%	20.0%
シニア女性	2.5%	6.8%

「ぶれた戦略」を実行する可能性があります。近年、中小規模ホールにとっては苦しい状況が続いています。しかし、一っだけ

『NAPPA』は、客数調査を簡略化するためのツールではありません。営業戦略の基となる客層を調査し、分析するためのものです。客層分析の実例をご紹介します。図表1は海シリーズの稼働が非常に高いエリアにおける、海シリーズのエリア客層分布です。この図を見るとシニア層と女性の比率が高いことが分かります。図表2は自店の客層比率を示したものです。非常にシニア比率が低いことが伺えます。この2つのデータを見ただけで、自店に欠けているものは明白で、取るべき戦略が分かります。しかし、客層を把握していない場合は、海シリーズの稼働が低いということは分かりませんが、どの層に向けて戦略を打てば良いのか分かります。かかからず、



はつきり言えることがあります。それは、大手チェーンの大型店に対抗している中小規模ホールには必ず「強み」があるということです。客層分析によって「強み」を磨き、大手チェーンの大型店にも負けない高稼働の部門を作り上げているのです。『NAPPA』を活用する中でデータの重要性を理解し、従業員の分析能力が高まり、結果的に組織力の向上に繋がった例もあります。まずは、現状の客数調査を客層調査に変更して下さい。そしてエリア全体の遊技者の動きを捉え、自店の「強み」と「弱み」を再認識し、明日からの営業に役立ててみてはいかがでしょうか。

『NAPPA』発売3周年記念プロジェクト実施



社員20人が田植えに汗を流した

南州ソフトウェアは、電気設備や空調・換気設備、防犯・防災設備、IT関連設備までを取り扱う南州電設から分社したソフトウェア企業。同社が提供するシステムは独特なものばかりだが、社内活動も独特。5月11日には、栃木県那須市で田植えイベントを開催した。このイベントは『NAPPA』の発売3周年を記念したもの。10月には、今回植えた稲の収穫体験を行う予定だという。『NAPPA』3周年を記念したプレゼントキャンペーンも実施中。契約者にもなく調査端末をプレゼントする。『NAPPA』の客数・客層調査を試すチャンスだ。



会社名/株式会社 南州ソフトウェア
住所/横浜市港南区港南台8-11-5
南州ビル3階
URL/http://www.nanshuoft.com/
Email/info@nanshuoft.com
電話番号/045-831-6751